

# ようこそ校長室へ！

No. 55

令和6年3月5日

発行：貝塚敦

に にこにこ笑顔で

い いつもみんなで

つ 紡ぎ繋げる心で

に 日本一をめざすのだ

## さらば！新津二中の我が子らよ

### <令和5年度卒業証書授与式 校長式辞>

ただいま、3年生の皆さん一人一人に卒業証書を手渡しました。最後の最後に、皆さんの顔を目の前でまじまじと見ることができて、ささやかな感動を覚えました。

あらためまして、卒業おめでとうございます。

さて、この旅立ちの日にあたり、私は、どんな美辞麗句も、偉人や歴史上の人物の格言も、有名人の成功体験や感動的なエピソードなど、何の気の利いた話は準備していません。また、皆さんのこの3年間の輝かしい足跡はこの後の送辞・答辞に委ねたいと思います。

その代わり、私がこれまで皆さんに訴え続けてきたことをあらためてお話しし、はなむけの言葉とします。

私が皆さんに言い続けてきたこと、それは、常に周囲から自然に「愛され、応援され、励まされるような人間」たれということです。

もちろんそれは、周囲のご機嫌をとったり、忖度したり、世渡りのうまい処世術を身につけたり、大勢に流されるということとは当然違います。当たり前前を当たり前前にできて、どんなことにも誠実に取り組んで、誰にもやさしく接して、どんな困難や失敗にもくじけないで、ひたむきで真摯な生き方をすれば、必ずや、あなたのことを周囲の人たちは、おのずと、愛し応援し励ましてくれるはずです。それが人として何より幸せな生き方だと思っています。

そのためにも、最も大切なのは、『感謝』『謙虚』『モラル』の3つです。これまで支えてくれた人、これから応援してくれる人への『感謝』の気持ち、おごらず威張らず偉ぶらずの『謙虚』な生き方、常識をもって当たり前前の社会のルールやマナーを守れる『モラル』。

この3つを決して忘れないで生きてください。

この卒業生の晴れの日にご臨席いただきましたご来賓の皆様、本日は誠にありがとうございます。そして、これからも卒業生を地域の一員として温かく見守っていただきたいと思います。

そして保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。本日のこの卒業生のたくましく成長した姿とともに、お子様の晴れの日を迎え、感慨もひとしおと推察申し上げます。

ご家族はもとより、我々教職員や全校生徒にとりましても、この新津第二中学校で、卒業生のみんなと、嬉しいこと楽しいことつらいこと苦しいこと、あらゆる喜怒哀楽を共有できましたこと、生徒の成長する姿を間近で目にできたこと、そして生徒とともに我々自身も成長できたことは、何事にも代え難いかけがえのない至上の喜びでした。

本日をもちまして、3年間お預かりしました大事なお子さまを、完全に家庭にお返しする日となり、正直とても寂しい思いでいっぱいです。たいへん僭越ではありますが、今後とも私たちが心から愛した子どもたちを、どうか宜しく願います。

卒業してからも、皆さんが、幸せな人生を歩むことを心から祈っています。決して、有名人になることや社会的地位や栄誉や富を手にすることが幸せではありません。

誰とも比べることのできない、あなただけの幸せや生きがいをつかんでください。たとえ平凡な生き方と言われようと、家族を愛し、隣人を愛し、地域に貢献し、だれにも迷惑をかけずに、社会を支えながら生きることこそがすばらしい生き方だと考えます。

最後にもう一度約束します。皆さんがひたむきに誠実に前向きに、日々黙々と日々粛々と生きている限り、この学び舎で巡り合った縁を大切にし、皆さんに、心の中で、ずっとずっとエールを送り続けます。

頑張れ、新津第二中学校第76回卒業生諸君！  
卒業本当におめでとう。

令和6年3月5日

新潟市立新津第二中学校 校長 貝塚 敦